

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公開番号】特開2009-180730(P2009-180730A)
 【公開日】平成21年8月13日(2009.8.13)
 【年通号数】公開・登録公報2009-032
 【出願番号】特願2009-19272(P2009-19272)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 21/64 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/64 Z

G 0 1 N 21/64 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月27日(2012.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

流路内に被検体を通しながら励起装置を稼働させ励起エネルギー域内スペクトラムを有する励起光を浴びせることでその被検体を発光させる方法であって、

流路を構成する個々の流路区画における励起光スペクトラムを励起エネルギー域内ノンバイナリススペクトラムとし、且つ

同じ励起エネルギー域内の別々の小範囲で発光するよう或いはその間の遷移が非干渉的になるよう、それら流路区画のうち少なくとも2個の間で励起光のスペクトラムを変えることにより、

流路内移動につれ被検体発光が経時変化するよう流路区画単位で励起光のスペクトラムを変化させつつ被検体を発光させる励起装置使用方法。

【請求項2】

本装置稼働中に複数個の被検体を各々通せるよう流路母材上に形成された流路と、励起エネルギー域内スペクトラムを有する励起光を流路内被検体に浴びせて発光させる励起装置を有する符号化部材と、を備える装置であって、

流路を構成する個々の流路区画における励起光のスペクトラムを励起エネルギー域内ノンバイナリススペクトラムとし、且つ

同じ励起エネルギー域内の別々の小範囲で発光するよう或いはその間の遷移が非干渉的になるよう、それら流路区画のうち少なくとも2個の間で励起光のスペクトラムを変えることにより、

流路内移動につれ被検体発光が経時変化するよう流路区画単位で励起光のスペクトラムを変化させつつ各被検体を発光させる装置。

【請求項3】

本装置稼働中に複数個の被検体を各々通せるよう流路母材上に形成された流路と、符号化部材と、を備える装置であって、

その符号化部材が、

励起エネルギー域内スペクトラムを有する励起光を発生させ被検体に浴びせて発光させる励起光源であって励起光のスペクトラムを少なくとも二通りに切り替えうる励起光源と、

励起光照射区画より上流で被検体の流路内通過を検知してトリガ信号を発生させるトリ

ガ検知器と、

励起光照射区画を通過中の被検体に照射される励起光が経時変化するようそのスペクトラムを経時的に切り替えつつ励起光を照射する動作を、トリガ信号に応じ励起光源に行わせる回路と、

を有する装置。